

# JAグループ鳥取自己改革推進レポート（1月号）

## 1. JAグループ鳥取の取り組み

### 鳥取県協同組合連絡協議会の新たな取り組み

鳥取県協同組合連絡協議会（生協・漁協・森連・労金・JAで構成）は、新たに日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団山陰開発本部が同協議会に加入する検討を進めている。今後、加入が決定次第、同じ協同組合組織の仲間として一緒に活動していく。

協議会は、毎年国際協同組合デーに合わせて「鳥取県の集い」を開くなど、協同組合運動の発展と更なる前進を誓い合っている。今後、更に協同組合の活動や事業においても連携を深め、発展させていくため同じ協同組合組織に働く者同士が集い協同組合理念を学び、仲間づくりを通じて地域貢献に資する取り組みを構築することが必要となっている。

また、協同組合の活動や理念は「SDGs」との関連が深いものの、その取り組みが「SDGs」を意識されず行われていることが懸念されている。

このような状況を受け、令和3年度から協同組合理念と「SDGs」の取り組みについて各協同組合の職員同士と一緒に学ぶことで関係性を深めるため、「協同組合学習会」を開き、更なる協同組合間連携の強化を目指すこととしている。

## 2. JA全農ととりの取り組み

### ① 「星空舞ブランド化推進協議会」開催

県産ブランド米「星空舞」の生産力強化、消費拡大を目的に設立されている「星空舞ブランド化推進協議会」について、12月17日に幹事会、12月24日に臨時総会を開催した。

幹事会、臨時総会では令和2年産米の販売概況、令和3年産の販売方針について意見を交わした。コロナ禍の現在、米の消費量が大きく減少している中において、令和3年度に向けた生産方針や産地一丸となった消費拡大並びに播種前契約の拡大についての取り組みを決定した。

### ② 「JA・県域農機事業一体運営研究会」開催

12月16日、17日に第4回目となる「JA・県域農機事業一体運営研究会」を開催した。農産物の生産に欠かすことのできない農業機械の事業継続の観点から県域での農機事業一体運営について協議を行った。

研究会ではサービスの低下を抑えた拠点の整備や事業規模に合わせた職員の配置や労務管理、さらには組成後の運営方法についても議論が及んだ。

今後は研究会でのまとめを受け、一体運営に向けたマスタープラン作成への参画意思の確認を行い更なる協議を進めていく。

### 3. JA鳥取信連の取り組み

#### 「農業メインバンク機能強化にかかる実績検討会」開催

標記検討会を各JAと開催し、令和2年度の振り返りと令和3年度の取り組みについて協議を行った。

令和3年度の取り組みについては、令和2年度に引続きメイン強化先等への訪問活動に次のとおり取り組むこととした。

- ① 営農部門と信用部門の同行訪問を基本とし、1先あたり年2回以上を目標にメイン強化先を訪問し、現状・需要等をヒアリングする。
- ② 金利・保証料ゼロの農業近代化資金など農業資金にかかる施策・取り組みの情報提供を行う。
- ③ 本・支所（店）間および営農部門が連携を図り需資のある農業者へ適時での相談対応を行い、農業融資残高の伸長に向けて取り組む。

また、「JAバンク鳥取中期戦略」の令和3年度の主な取り組みとして次の2点について確認した。

- ① 選定した県域1先以上の農業者の経営課題について、系統内に限らず行政等の系統外関係機関等とも連携して、課題解決に向けたサポートを行い、農業所得の向上に貢献する。
- ② 本会としては、県域農業融資研修会等の開催および営農・経済部門等の他部署向け研修会の開催支援に取り組み、JAの人材育成の支援を行う。

今後とも、営農部門と信用部門の双方が連携し、メイン強化先を中心に農業者をバックアップすることで農業・地域の成長支援を行っていく。

### 4. JA共済連鳥取の取り組み

#### 令和2年度JA自動車共済利用者満足度調査結果（速報値）について

JA自動車共済では、利用者の事故対応サービスに対する評価およびニーズの把握と事故対応サービスの質的向上等を目的として、平成18年度から自動車共済へ共済金請求をされた契約者を対象に利用者満足度調査を実施している。

調査の特徴として、「総合満足度」の総合評価の他に、より契約者の声に耳を傾けられるよう事故処理の工程別に設問を設定し、特に各JAでは「最初の事故連絡時の対応」、「現場急行での対応」などの工程に積極的に取り組み、利用者の皆様に「安心」と「満足度」を提供している。

令和2年度鳥取県は「総合満足度」の目標を96.0%に掲げており、令和2年11月末は、96.4%（全国順位は9位）と全国平均と比較して1.2ポイント高い結果となっている。

また、令和2年度より事故対応リレーションシステムが導入されたことに伴い、Lablet's（携帯用端末）を活用した現場急行を実施し、スムーズな事故受付を積極的に展開している。

## ◆令和2年度 自動車共済利用者満足度調査結果(速報値)

### 自動車共済利用者満足度調査

#### ①総合満足度

JA名	令和元年度	令和2年11月末	全国順位
鳥取いなば	95.0%	94.5%	257位/390JA
鳥取中央	95.5%	96.7%	129位/390JA
鳥取西部	96.6%	97.5%	82位/390JA
県合計	95.9%	96.4%	9位/47県
全国平均	94.3%	95.2%	



#### ②工程別満足度

工程 JA名	事故受付対応 (JA対応分)		現場急行対応 (JA対応分)	
	令和元年度	令和2年11月	令和元年度	令和2年11月
鳥取いなば	98.2% (99.1%)	96.3% (96.7%)	100.0% (100.0%)	96.3% (97.8%)
鳥取中央	94.8% (96.2%)	96.0% (96.3%)	93.0% (94.4%)	98.3% (100.0%)
鳥取西部	96.0% (98.2%)	96.3% (94.8%)	98.1% (100.0%)	100.0% (100.0%)
県合計	96.2% (97.8%)	96.2% (95.8%)	96.6% (97.7%)	98.4% (99.4%)
全国平均	95.1% (96.5%)	95.9% (97.0%)	95.9% (97.6%)	96.6% (98.1%)

アンケート回収月: 令和2年4月～令和2年11月 (単位: %, 位)

※「事故受付対応」は JA および事故受付センターの対応に対する数値で、()内は JA 対応分のみ。

※「現場急行対応」は JA およびアルソックの対応に対する数値で、()内は JA 対応分のみ。